

新型コロナウイルスワクチン接種を 予約された方へ

ワクチン接種を受ける前に ~ワクチンと副反応~

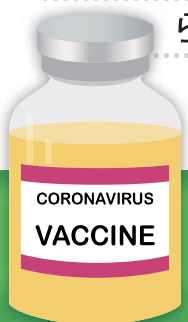
安全に、そして安心してワクチンを接種できるよう、この説明書を用意しました。ぜひ接種を受ける前にお読みください。

ひとは、体調や体質により、外部から体内に入るもの（例えば食物、お薬など）によって、“アレルギー反応”を起こすことがあります。

ワクチンも同様に、頻度は多くありませんが、アレルギー反応などの副反応を起こすことがあります。しかし、接種前の正確な問診と、万が一副反応が起こっても正しく対処することで、重篤な症状になることは極めてまれです。

ワクチン接種の前には、『問診票』で発熱の有無、心臓病や腎臓病等の持病の有無、予防接種によるアレルギー歴の有無などの確認を行います。当てはまるものがあれば、必ず医師にお伝えください。

ワクチン接種後（直後から数日間）は、ご自分の体調に注意しましょう。体調の変化、異常があれば、接種を受けた医療機関や、予め伝えられた連絡先に相談し、指示を仰ぎましょう。



日本医師会

<https://www.med.or.jp/>

起こるかもしれない症状

- **注射した部位の腫れや痛み** ◀ 当日に現れ2日ぐらい続く
- **筋肉痛、関節痛** ◀ 多くは接種翌日に現れ、1日程度で治まる
- **頭痛** ◀ 多くは接種翌日に現れ、1日程度で治まる
- **倦怠感、寒気、発熱** ◀ 多くは接種翌日に現れ、1日程度で治まる



上記のような症状が出て数日してもよくなる場合は、医師の診察を受けてください。

アナフィラキシー

発生頻度は低いが以下のような症状

- 皮膚のかゆみ、じんま疹、皮膚が赤くなる
- くしゃみ、のどのかゆみ、声のかすれ、息苦しさ
- 腹痛、吐き気
- 物が見えにくい
- 気分の不良 など



接種直後から30分以内にこのような症状が現れた場合は、直ちに接種した医師や看護師に伝えてください。

ワクチン接種後15～30分は、接種医療機関（接種会場）にお残りください。
お帰りの際には、医師や看護師等に許可をもらってください。その際には、体調に変化があったときの連絡先を必ずご確認ください。

日本医師会
公式キャラクター
「日医君」

